

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2020 は 2020 年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2020-10 2020.10.29

☆野外観察会再開に当たっては、活動の曜日や時間の選択など、これまでとは異なる配慮・企画が求められますし、3密回避の努力が必要です。当面、観察対象を不忍池（上野公園）の定点観察に絞り、負担が少ない方法を模索していきます。一人一人の体調判断や不参加の決断も重要になります。

2020年11月の活動 不忍池定点観察

集 合：2020年11月8日（日）午前10時 不忍池蓮池南西端
（野外ステージ西側、湯島交差点寄り） 今回は雨天（小雨）中止
持ち物：筆記用具、双眼鏡、雨具 帽子、飲み物、マスク 敷物
解散は午後1時頃（ベンチ・テラスで昼食可、テーブルなし）



蓮池を2時間程度かけて一周します。
カモの数が徐々に増えています。10月半ばにはカワセミが見られました。10月下旬にはオナガガモのほか、キンクロハジロ、ハシビロガモも来ています。

*集合地付近の園路縁石やテラスに座る方は、敷物があると便利です。

- *お天気が良ければ、池のベンチ・テラスで昼食もよいでしょう。周辺にコンビニあり。
- *弁天堂南の藤棚下は椅子・テーブルがあるのですが、過密になりがちなので、集合地から外しています。
- *12月の水鳥個体数調査の相談もしますので、調査に参加予定の方は出席を。上野動物園の入園が予約制になったので、動物園池の調査担当者をあらかじめ決めて申し込んでおく必要があります。12月の調査参加予定者で11月に出席できない方は、小川までご連絡ください。
- *必要に応じて、12月初めに調査練習日を設定します。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2019年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

2020年10月の活動 不忍池より

10月の活動は不忍池の蓮池定点観察を行い、9名が参加しました。前日までの雨が心配されましたが朝にはあがり、日中は日差しが温かく感じられました。

蓮池のハスは、先月も感じたのですが、岸近くで背が高く池の中央程低く見えます。水田や畑の背が高い植物群落の辺縁部で背が高くなる一般的現象か、冬の枯蓮刈りが岸辺だけで行われてきた影響か即断できません。中央寄りでは枯葉が目立ち、岸辺では背が低い葉が枯れていました。

岸に植えられたアキノレの実を食べに、カワラヒワが集まっていました。その下では、枯草の蔭でエンマコオロギが鳴き、メスが姿を見せました。

カモは先月同様、カルガモがボート池で小群をつくっていたほか、オナガガモが7羽と3羽いました。1羽はオスでしたが、残りはメス型で、換羽前のオス（エクリップス）かメスか見分けが難しい色・模様でした。カモメ類はいませんでした。

この日の圧巻はゴイサギ。これまでもときどき蓮池のカエル島のアシの根元に見ていたのですが、この日は弁天池（動物園側の池のうち動物園に属していない部分）の枯ハスのやぶの中に1羽でいました。よく見付けたものです。細く倒れたハスにとまってじっとして、そのうち一本足で立ったままくちばしを胸の羽毛の間にうずめて寝たような格好になりました。しかし、目を開けたままで、そのかっこうがとても愛くるしく見えました。



ゴイサギ

見聞きした生きもの：オナガガモ、カルガモ、カイツブリ、コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、ハクセキレイ（帰り）、カワウ、カワラヒワ、スズメ、ドバト、エンマコオロギ、ヤマトシジミ、キタキチョウ、コイ、ガマ、マコモ、アシ、ハス、アメリカセンダングサ？、セイタカアワダチソウ、植栽のクンシラン出蕾、弁天堂前でツバキの園芸品種？ピンク色の花



← ハクセキレイ
解散後、ボート池にて

ツバキ？ →
ツバキのような花、
チャのような葉

